※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　科学と人間生活　東京書籍						
副教材等	改訂　ニューサポート　科学と人間生活　東京書籍						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然の事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するための必要な資質や能力を養うことを目標とする。

２　学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのような貢献をしてきたかについて理解させる。

身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて理解させる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	身の回りの現象を捉え、物理学的な事物・現象として関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然を総合的にとらえる見方や考え方を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、　実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生命の科学	生物と光			○	○	a: 微生物について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b: 微生物の生態系内での役割を考察することができる。 c: ヒトが視覚を認識するまでの流れを実験を通して理解できる。 d: 植物の光利用について、基本的な概念や知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		微生物とその利用	○	○				
	物質の科学	材料とその再利用	○	○			a: 材料とその再利用に関心を持ち、科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して、科学的な見方・考え方を身に付ける。 b: 材料とその再利用に問題を見出し、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	
2学期	物質の科学	衣料と食料					a: 日常口にする食品について、その成分である栄養素という視点から分類することができる。 b: 食品と衣料に問題を見出し、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
	光や熱の科学	光の性質とその利用	○	○			a: 熱とは何か、温度とは何か、熱の諸現象はどのようなしくみで起こるのか、といったことに疑問や興味を示している。 b: いろいろな種類のエネルギーについて、その性質や特徴を定性的に説明できる。 c: ヒトが視覚を認識することの実験を通して流れを理解できる。 d: 植物の光利用について、基本的な概念や知識を身に付けている。	
		熱の性質とその利用			○	○		
3学期	宇宙や	身近な天体と太陽系における地球	○	○			a: 災害に関心を持ち、科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して、科学的な見方・考	学習状況 探究活動 ノート・ワークシ
		身近な自然景観と自然			○	○		

※令和３年度以前入学生用

	地球の科学	災害					え方を身に付ける。 b: 災害に問題を見出し、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断することができる。 c: ハザードマップを入手し、予想される被害を調べることができる。 d: 身近な地形が、どのような作用によって形成されたのかを理解できる。	ート 観察・実験 定期考査